

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（ 中正 ）小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	全国平均と比べて、同程度もしくは低いもの 国語A→書くことや読むこと。国語B→話すことや聞くこと。 算数A→量と測定。算数B→図形。	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全 体の 取組	○「問題データベース」を活用し、課題のあった類似問題や基本・応用問題を取り上げ、学力の向上を図る。	B	○全員が問題データベースを使用し類似問題や基本・応用問題を解くことで、活用問題にも対応させる。（使用：100%）
①	○「どんどんチャレンジ」（算数）の進行状況を把握し、遅れている児童の個別指導も行う。	A	○進行状況により、2回目のチャレンジや文章題を含んだ追加プリントをさせる。 （年度内に全員が該当学年の全問題を終える。）
②	○児童アンケートを実施し「授業の楽しさ」「勉強のがんばり」「発表」などを意識させたり、校内研究として授業公開を行い、よりよい授業をめざしたりする。	A	○児童アンケートを実施する。（「授業は楽しい」「勉強をがんばっている」が85%以上、など） ○公開授業研究会で得られたことを授業に生かしていく。
③	○学期ごとの市販テスト（まとめ）により検証する。また、国語と算数については、標準学力検査も実施する。	A	○市販テストにおいては、多くの学年（または、教科）で期待得点を超えており、さらなる底上げをする。また、標準学力検査にむけてまとめをさせていく。
※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」			